

取手駅西口に 新しい壁画が完成！



JR 取手駅西口側線路擁壁に市内 18 作品目の壁画が完成しました。平成 25 年度に開始した JR 取手駅西口の壁画事業、最後の作品となります。原画は、東京芸術大学の学生から募集した 10 作品の中から選ばれました。

◎市は、市民の皆さんに広く芸術に親しんでもらい、環境美化にもつなげるため、壁画によるまちづくりを推進し、さまざまな壁画を制作しています。

☎ 文化芸術課 ☎ 内線1292

◆作品の概要

作品名 取手の街と利根の龍
つねゆきあきひろ
原画作者 常行哲弘氏
大きさ 高さ 3.8 ~ 5.9m × 長さ 84m (約 330㎡)
場所 中央町 2 (JR 取手駅西口側線路擁壁)
制作 取手市壁画によるまちづくり実行委員会

◆原画作者コメント

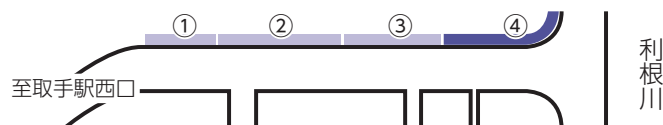
取手市にはいいところがたくさんあります。それが分かりやすく伝わるものにしたいと思いました。市内を流れる利根川を龍に見立て、その背に取手市の名所や生物、そこに暮らす人々の暮らしを描いています。取手市のブランドメッセージ「ほどよく絶妙とりで」のように、ほどよく古いものと新しいもの、自然が残っていてどこか懐かしい雰囲気がある取手市らしいものにとりて試みた作品です。

◎市は平成 17 年に「取手市壁画によるまちづくり実行委員会」を立ち上げ、壁画の制作・維持管理を行っています。市内の各作品は市ホームページで公開しています。



合計で約 270m の長さに

JR 取手駅西口側線路擁壁には、これまで 3 点の壁画が描かれていました。今回完成したものを加え、計 4 点・約 270m の長さになります。



①とねがわず (平成 25 年度)、②未来につなぐ小さなキラキラ (29 年度)、
③Four seasons of flowers (30 年度)、④取手の街と利根の龍 (令和 3 年度)

①とねがわず



②未来につなぐ小さなキラキラ



③ Four seasons of flowers



④取手の街と利根の龍

